

# トマキトリオ TOMAKI TRIO

ウィーンを拠点に世界で活躍するオペラ・ディーヴァ中嶋彰子。同じくウィーン在住でクラシックからジャズミュージカルとジャンルを越えた演奏活動をする若手ピアニスト齊藤雅昭。この2人が2011年邦楽界の新進気鋭二十五弦琴演奏者中井智弥と運命的にウィーンで出会ったことで生まれたトマキ・トリオ。そのトリオが2011年9月9日青山Eye's Studio B1A (Eye's Cafe内) にて日本初イベント開催！  
様式にとらわれず時に繊細で時に情熱的な音楽。歌・ピアノ・琴という組み合わせの全く新しい音楽表現にご期待ください！



Masaaki Saito



Akiko Nakajima



Tomoya Nakai

97年渡欧。2005年ウィーン国立音楽大学大学院ピアノ演奏科歌曲伴奏科第二ディプロム（大学院修了）を満場一致の最優秀で修了（首席修了）。フーゴ・ヴォルフの論文に対してオーストリアより芸術修士を取得。大学在学中よりヨーロッパ各地にて宮廷歌手レナーテ・ホルム女史をはじめとする様々な歌手と共に演奏会、国際音楽祭に出演。期待の若きピアニストとして音楽誌等で紹介される。音楽助監督、コルペティールとしてシェルディング市、パーデン市にて2004年よりオペラフェスティバルに参加。05年パッサウ市国際音楽コンクール「最優秀伴奏者賞」を受賞。07年より同コンクール公式ピアニスト。2006年からは精力的に音楽劇、ミュージカルのプロジェクトにて音楽監督を勤める。ジャズ、シャンソンをはじめ、ウィーン風の即興演奏を必要とされるヴィーナーリートの伴奏ができる数少ない外国人伴奏者としても定評を得ている。2005年より私立ウィーン音楽院にてピアノ科、歌曲伴奏科、リートオラトリオ科、ミュージカル科講師。

1990年全豪オペラ・コンクール優勝。同年、シドニーとメルボルンの両オペラハウスと契約、デビュー。92年、イタリア・ナポリ、サン・カルロ劇場で『ラ・ボエム』ムゼッタでヨーロッパ・デビュー、ヨーロッパ国際放送連合より92年度最優秀賞を受賞。96年シドニーの映画監督バス・ラーマン演出の『ラ・ボエム』のムゼッタに選ばれ注目を集める。99年ダルムシュタット『ルチア』で最優秀新人賞。ウィーン・フォルクスオーパー、ウィーン・テアター・アンデア・ヴィーン、ハンブルグ州立歌劇場、新国立劇場などで主役を演じる。ロリン・マゼール、ズービン・メーター、小澤征爾、ヘルベルト・ブロンシュテッド、シャルル・デュトワ、大野和士、チョン・ミュン・フン、トマス・ヘンゲルブルックら名指揮者のもと各国のオーケストラと共演。CD『ラ・パストレラ』（PR90647）2005年度ドイツ批評家大賞ノミネート『女の肖像』（PR90691）、『愛の喜び』（CDS556）、『ウィーン、わが夢の街』（GRML98908）をリリース。出光音楽賞 受賞。シュタイヤー音楽祭・アーティストティック・アドバイザー。ウィーン工科大学建築設計学部非常勤講師。

東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。常英賞受賞。津市文化奨励賞受賞。NHK邦楽オーディション合格。NHK教育テレビ「日本賞授賞式」「おかあさんと一緒」「花鳥風月堂」、NHK総合「いっとろっけん」に出演。二十五弦箏ライブシリーズ「ドラゴニクル」を全国で展開。07年国際交流基金海外公演主催事業「メキシコ移住110周年事業、日チリ修好110周年事業」09年外務省より文化使節として日メコン交流年イベント、11年オーストリアにて国立ウィーン工科大学、東京大学との交流30周年イベントにて演奏。フィンランドのカンテレ奏者EVA ALKULAとは日本とフィンランドを中心に国際交流基金協力のもとフィンランドのシベリウスアカデミー・フィンランドカンテレ協会招聘によるワークショップ・コンサート、音楽・芸術フェスティバル、日本フィンランド協会主催「修好90周年イベント」にも招聘。「箏カンテレJAPAN TOUR」ではフィンランド大使館をはじめ全国各地にてコンサートを開催。皇學館大学非常勤講師。生田流宮城社教師。JAPAN TRADITIONAL ARTS ACADEMY学長。中井智弥箏三絃教室「いはな会」主宰。

日付	時間 & 入場料	場所	
09/09/2011	OPEN 19:30 START 20:00 2000円	青山EYE'S CAFE	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-51-1 TEL:03-5485-1010

お問い合わせは tomakitrio@gmail.com まで